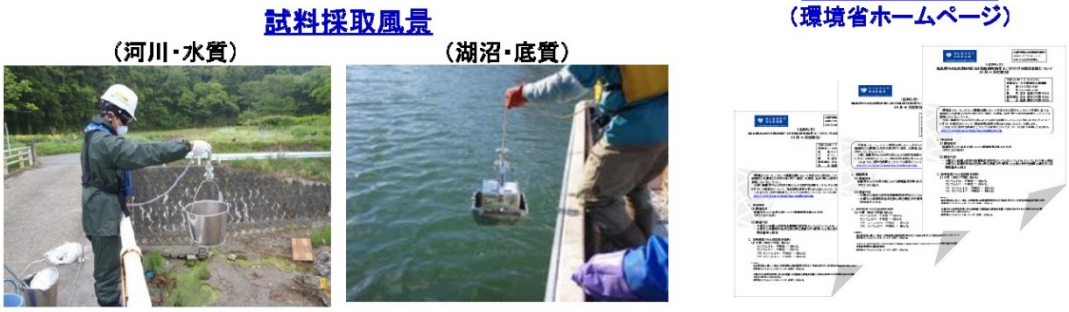
QA6　河川・湖沼のモニタリングの実施状況はどうなっているのですか

平成 23 年 9 月から河川・湖沼・水源地などの水環境において、水や水底の泥等に含まれる放射性物質の調査を福島県等関係機関と調整しながら、1 ヶ月から 6 ヶ月に 1 回の頻度で継続して実施しています。

結果については、福島県などの関係機関に提供するとともに、環境省ホームページで公表しています。

最新の調査では、水については、放射性セシウムはほぼ不検出（検出下限値：1 ベクレル/L）となっています。また、水底の泥については、東京電力福島第一原子力発電所の 20km 圏内などの一部の限られた地点において高い数値が見られますが、全体としては概ね横ばい又は減少傾向となっており、河川で 1,000 ベクレル/kg 程度以下、湖沼で 3,000 ベクレル/kg 程度以下、沿岸で 150 ベクレル/kg 程度以下となっています。

なお、水底の泥に含まれる放射性物質については、水による放射線の遮へい効果により、被ばく線量への影響は限定的と考えられます。



※：環境放射線等モニタリング情報（環境省）
http://www.env.go.jp/jishin/rmp.html#monitoring

出典：復興庁「避難住民説明会等でよく出る放射線リスクに関する質問・回答集」より作成
出典の公開日：2012 年 12 月 25 日
本資料への収録日： 2013 年 1 月 16 日
改訂日： 2015 年 3 月 31 日